

令和7年度和歌山県文化功労賞

たか す ひで き
高須 英樹

住 所 和歌山県和歌山市

出 身 地 東京都日野市

生 年 昭和24年

◎ 業績及び経歴

昭和24年東京都南多摩郡日野町（現日野市）に生まれる。昭和47年富山大学文理学部（理科系）生物学科を卒業後、京都大学大学院理学研究科へ進む。昭和51年に博士課程を中途退学後、大学教員としてキャリアを重ね、和歌山大学教育学部では平成2年から助教授、平成23年から教授として教壇に立つ。理学博士。

平成26年に和歌山大学を退官後、同大学から名誉教授の称号を授与される。また、平成26年度から令和3年度までは、和歌山県立自然博物館の館長を務めた。

専門は植物生態学であり、和歌山県の植物分布状況に詳しく、その専門的見地から本県の複数の審議会等において委員を務め、県政に大いに貢献されている。特に、『和歌山県レッドデータブック』の作成およびその後の改訂作業に携わった功績は大きい。自然豊かで知られる和歌山県においても、将来的に絶滅が危惧される動植物が多数あるが、本県の貴重な自然の状況を把握し、県として保護・保全の対象とすべきものを明らかにするため、平成13年に『和歌山県レッドデータブック』が発行された。その後、一度目の改訂となる「2012年（平成24年）改訂版」の発行を経て、二度目の改訂となる「2022年（令和4年）改訂版」の発行に向けて、改訂の全体方針に関する事項について各分類群の専門家による選定作業を進めるために平成28年に設置された「生物多様性和歌山戦略推進調査会」において、氏は座長を務めるとともに、植物・植物群落専門部会の部会長をも務め、改訂作業に尽力された。

現在は、和歌山大学において非常勤講師を務めるほか、50年以上にわたり地域の生物観察会において県民や子ども達に植物や自然の魅力を伝える活動に取り組んでいる。

和歌山県の植物の魅力を広く伝えるとともに、その多様性を守るために長きにわたり活動されてきた功績は誠に多大である。

■現 在

- ・和歌山大学名誉教授
- ・和歌山大学非常勤講師
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員
- ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会委員
- ・生物多様性和歌山戦略推進調査会会員・座長
- ・生物多様性和歌山戦略推進調査会 植物・植物群落専門部会部会長
- ・和歌山県河川整備審議会委員
- ・和歌山県河川整備審議会 河川整備計画部会委員
- ・和歌山県土地利用審査会委員
- ・和歌山県森林審議会委員
- ・和歌山県文化財保護審議会委員
- ・和歌山県立自然博物館運営協議会委員
- ・和歌山県緑化功労賞選考委員会委員